

2022年 5月 月例報告

1、当館の日系企業支援(鉄道インフラ支援)

任国のインフラ整備支援、特に鉄道プロジェクトの支援は日本政府として力を入れている分野の一つです。ここオンタリオ州においては州政府の鉄道はメトロリンクス (Metrolinx) という公社が手がけています。現在、メトロリンクスは通勤サービスを拡充をしつつありますが、日本ができる具体的な支援として、例えば駅舎のアップグレードやさらなる収益力の向上を目指す集客方法について、日本の経験を踏まえてコンサルティングやアドバイスの支援ができるのではないかと考えました。メトロリンクスの収益は乗客の運賃等の割合は多くはなく、州政府の補助金が使われています。この点、JR 各社始め日本の鉄道はエキナカや沿線の開発をつうじて鉄道以外の事業でも、リテールやサービス業、不動産やホテル運営など事業を多角化した上で大きな収益を上げ、同時に利用者の利便性も高めています。また鉄道インフラの整備や維持管理にあたっては日本企業の高い技術が活用されています。これらをメトロリンクスに紹介する機会を設けることができました。

メトロリンクス幹部をお迎えした公邸での会合においては、JR 東日本本社からオンラインにてこれまでの JR 東日本の既存駅改良・エキナカ開発事例について紹介がありました。また日立、ヤマハミュージック、キヤノンからそれぞれこれまでのインフラ整備の実績、駅ピアノなどの日本での取り組み、また駅全体や車両をラップアップしサイネージで駅全体を明るくするプロジェクトなどが紹介されました。また古河電工より日本の高いリサイクル技術を利用し環境に優しく、且つ工期を短縮することでコストダウンにもつながる鉄道インフラプロジェクトの工法が説明されました。

これらに対しメトロリンクス幹部より日本の技術について熱心な質問が行われ、活発な議論がなされました。

今回の取り組みはまだ緒に着いたばかりですが、今後も継続的に日本の高い技術や知見に基づくプロジェクトの進め方などをオンタリオ州政府や企業に紹介していきたいと思っております。



会合の様子の写真

2、桜関連の取り組み

今年の桜の季節も終わりとなりました。昨年からはほぼ1年間をかけて準備した当館の桜関係の取り組みもほぼ終了いたしました。

具体的な成果として、例えばトロント市の桜関係のサイトがさらに充実し、ドネーションサイトが立ち上がったこと、またトロント市は今後、継続的に日本と桜の関係について市民に啓発活動を行っていくことなどが公表されました。

カナダのメディアも盛んに桜について報道しました。特にCBCは1時間にわたる特別番組を放映しその歴史的意義や日本との関わり、また現在の様々な取り組みについて深掘りして紹介してくれました。この番組は今後長きにわたり日本と桜の関係について説明する際に有益な番組であると思います。またグローブ&メール紙(カナダ最大の日刊紙の1つ。)の一面にハイパークの桜の写真が掲載され、その中のキャプションにチェリーブラッサムではなく、Sakura という単語が使われたことも非常に興味深いことでした。トロントの日系企業もこの季節に桜にちなんだ数多くのイベントを実施しました。オンタリオの桜は日本政府や日系人のかたが植樹されたもののみならず、姉妹都市関係にある日本の様々な都市等から寄贈された多くの桜が存在することを改めて認識しました。これら日本からの桜は、春先の市民の大きな憩いの場となっています。

オンタリオの桜は、これからも毎年、長い冬を経た春に咲きます。この、いわば先祖伝来の貴重な財産を将来にわたり、日本とオンタリオの友好親善の深まりのために活用していきたいと思えます。



サクラ関係の写真



サクラプロジェクト写真集

3、レストラン・カナダ・ショー

5月9日より3日間にわたり、エキシビジョンセンターのエナケアーセンターにて行われましたレストラン・カナダ・ショー(RCショー)は大盛況のうちに終了いたしました。日本政府ブースには登録されただけで1000人近い方々が訪問されました。実際の来訪者数はこれよりはるかに多いと思われます。またこのショーは、事業者を対象としたものであるため、その場でかなりの数の事業者の方々(レストラン・食材店関係者)がその後の輸入契約に向けて実際に商談を申し込まれていきました。ブースでは試食サンプルの提供も行われ、立ち寄った方々が実際に食材を体験できる貴重な機会となったようです。実際に食材を目で見て味わい、生産者の食材に対する熱い思いに触れる体験を通じてはじめて、一つ一つの商談に結び付いていくのだと思います。今後具体的に契約につながっていくことを望みたいと思います。

ステージショーも多くの人が集まり、ネットでライブストリームされました。ショーを見つめる人たちの真剣な眼差しは対象者が事業者であるため、新たな日本食材やその調理方法を求める熱い好奇心とともに、本物を見極めようとする参加者の緊張感を感じました。

遠くより参加いただきました愛媛県、岩手県の皆様、ご参加いただきどうもありがとうございました。また地元トロントの業者の方も三日間大変にお疲れ様でございました。現場の様様をコンパクトにビデオにまとめましたのでぜひご覧ください。

https://www.toronto.ca.emb-japan.go.jp/itpr_en/11_000001_00316.html

総領事館ウェブサイトの動画のリンク

当館としては、これを契機にさらにオンタリオにおける日本農林水産物・食品の輸出振興、輸入促進に力を入れていきたいと考えております。トロントにおける食材流通網の拡張、料理人の育成、正統日本食文化の発信等、オールジャパンで取り組んでいかないと克服できない大きな課題がまだまだたくさんあります。今回を良いきっかけとして、一丸となってこれを進めていきたいと思っております。



【ショーで振舞われたシェフの逸品の数々】

(了)